



砂防ボランティア通信

特定非営利活動法人大阪府砂防ボランティア協会

理事長あいさつ

30年度通常総会を開催

この1年の活動概要報告

危険斜面地等の点検調査

地域調整委員会活動

研修会・講習会

河川室だより（大阪府）

☆ 理事長あいさつ

大江 徹

会員の皆様には、土砂災害の防止のための調査、啓発など当協会の活動にご協力いただき厚くお礼申し上げます。平成30年度総会につきましても会員各位のご理解、ご協力で議案についてご承認いただき、重ねてお礼申し上げます。

本協会の中心的な事業であった大阪府からの「急傾斜地崩壊危険箇所カルテ更新業務」がH24年度から実施されなくなって6年が経過しました。「急傾斜地崩壊危険箇所カルテ更新業務」が受託できた年度では、多くの会員が参画し急傾斜地において「現地調査」、「資料作成」及び「啓発活動」を実施してきました。大阪府からの「カルテ更新業務」が実施されなくなったことは協会の事業運営に大きな影響があり、平成24年度からは繰越金の一部を運営資金に充当する状況が続いております。一時期の平成27年度決算では会員の温かい厚意による寄付金収入と一層の経費縮減によって黒字となりましたが、平成28年度からは再び赤字基調になっております。

しかしながら平成29年度においては、当協会事業に賛同をいただける法人に対して賛助会員として新たに入会していただくとともに寄付金をお願いできた法人もありました。さらに昨年の台風21号による土砂災害現場の緊急調査や講習会等への講師派遣などに対して、大阪府河川環境課の支援を得て「一般社団法人 全国治水砂防協会」から新たに広報・啓発助成金がいただけました。これまで以上の経費縮減とあわせ赤字幅を抑えることができたところであり、今後の事業収支についてはいくつかの課題解決のもとではありますが、何とか見通せるような状況になっております。

今後の協会運営においてなお一層の事業収支の改善を図るとともに、会員の土砂災害に関する技術の研鑽と知識の習得が図れるよう講習会や研修会を実施してまいります。とりわけ協会独自の斜面地調査を昨年度に続き実施し、協会と会員の活動の場を広げると同時に土砂災害から府民のくらしと生命を守るための啓発活動に取り組むこととしております。

大阪府砂防ボランティア協会は、引き続き地域と連携して地域の防災・減災に向け幅広い活動が展開できるよう努力してまいります。

なお、今年度の「近畿ブロック砂防ボランティア協会合同講習会」は大阪府で実施します。大阪府河川室をはじめ関係方面のご支援・ご協力を得ながら開催準備をしております。



平成30年度総会（初めて「津波・高潮ステーション」で開催）

☆ 平成30年度通常総会を開催

平成30年度総会の会場は初めて大阪府西大阪治水事務所 津波・高潮ステーションで開催しました。

会員49名（うち委任状出席者数14名）の出席のもと、平成29年度事業報告・決算報告、役員改選、定款の変更、平成30年度事業計画・予算の各事案について審議し了承されました。役員改選では、藤本副理事長、上島理事、下清水理事、八木監事の4名が退任され、新たに塚本副理事長、河野理事、服部理事、秋山監事、木寺監事（和泉市OB）が選任されました。定款の変更については、特定非営利活動促進法の改正に伴うもので「公告は自らのホームページにより行う」としました。今後大阪府砂防ボランティア協会のホームページについて一層の充実を図っていくことが必要となります。

総会終了後の会員研修会では、富田林土木事務所建設課砂防総括主査 河村 昌克氏から「熊本地震に伴う災害派遣を終えて」の講演をいただきました。河村氏は平成28年11月からこの3月まで熊本県土木部砂防課に派遣され被災地域の復旧復興に尽力されました。

今後2カ年の執行体制

理事長	大江 徹
副理事長	平井 俊郎 塚本 雅夫
事務局長	吉村 滋
理事	服部 登（総務） 東郷 茂（財務） 若菜 邦雄（企画広報） 河野 敬太郎（地域調整） 松田 賢二（事業調整）
監事	秋山 敬 木寺 由男
ブロック長	（池田）田中 義宏 （茨木）東郷 茂 （枚方）下清水 則男 （八尾）川口 恵司 （富田林）田中 栄一 （鳳・岸和田）河野 敬太郎

☆ この1年の活動概要報告

危険斜面地等の点検調査・防災啓発活動

土砂災害から府民の命を守るため、大阪府や市町村と連携して土砂災害防止のための点検調査や防災意識の向上・啓発に努めました。

昨年度の斜面地点検調査は、土砂災害防止のため6月の土砂災害防止月間において各土木事務所管内で実施される土砂災害危険箇所パトロールに参加しました（7土木事務所、19名参加）。

また、土木事務所からの要請で台風21号による被災箇所（岸和田市大沢町、和泉市国分町）の現地調査を実施するとともに異状箇所（河内長野市日野地区、岬町多奈川東畑）において緊急調査を行い土木事務所等に必要な助言を行いました（11名参加）。さらに池田土木事務所の協力を得て過去に作成した「斜面地カルテ」等を用いて、豊中市、箕面市、豊能町、能勢町の10地区において斜面地調査を行いました（14名参加）。

防災啓発としては、6月の土砂災害防止月間行事の1つである「砂防フェア」では、岸和田市役所及び大阪府泉南府民センターにおいて啓発パネルの展示を行いました。大阪府が新たな取り組みとして呼びかけている「土砂災害タイムライン作成」の検討会（河南町）に参加するとともに、防災訓練（泉佐野市）や土砂災害タイムライン策定事前研修会（貝塚市）に出向き土砂災害に関する講演（出前講座）を行いました。さらに大阪府砂防協会が主催する災害講習会において市町村職員を対象に豪雨による災害に関する講演^{（注）}を行い、土砂災害防止の啓発に努めました。（注：「砂防と治水」（全国治水砂防協会）第242 2018.4月号に掲載されています。大阪府砂防ボランティア協会HPに内容をアップしています。）また、新規会員の技術向上のための研修会や土砂災害防止施設の見学会を開催したほか、地すべりの動態観測地である八尾市黒谷「市民の森」の清掃活動に参加しました（3名参加）。

なお、去る6月18日震度6弱を観測した「大阪府北部地震」によって危険度の高いと判断される池田・茨木・枚方の3土木事務所管内の「土砂災害等別警戒区域等」の地区を対象に大阪府職員と21日22日の両日に緊急点検を実施しております（5名参加）。



台風21号による被災箇所の緊急点検
（和泉市国分町）



斜面地カルテに基づく斜面地調査
（能勢町杉原地区）



新会員現地研修会
（高槻市奈佐原地区）

研 修 会・講 習 会

1. 現地研修会—和歌山県田辺市門谷地区、深谷地区—

・平成29年11月10日 現地研修会

昨年の奈良県五條市、一昨年 of 兵庫県丹波市に引き続き今回も奈良県砂防ボランティア協会と協力して和歌山県田辺市門谷地区、深谷地区の現地研修会を開催しました。平成23年9月の台風12号の豪雨による土石流で国道311号被災、住宅倉庫等全壊や河道閉塞など大きな被害が発生した和歌山県田辺市門谷地区、深谷地区において和歌山県が施工する砂防堰堤などの対策工事を視察しました。会員26名、大阪府から5名、賛助法人会員からは2名、合計33名が参加しました。



和歌山県田辺市門谷地区で施設整備が概成



和歌山県田辺市深谷地区の土砂災害現場での参加者
上部の既設第二堰堤では土砂掘削とスリット型の嵩上げ堰堤に改修。右岸の家屋が被災。

2. 砂防講習会

(1) 平成29年11月17日 大阪府河川協会及び大阪府砂防協会との3者共催による講習会（場所：大阪赤十字会館）

「砂防行政に関する最近の話題」

国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部砂防保全課課長補佐 石田 和典 氏

「報道の現場から見た災害」 朝日新聞社 論説副主幹 前田 史郎 氏

(2) 平成30年2月7日 近畿ブロック（2府4県）砂防ボランティア協会合同講習会（場所：しんらん会館（京都市下京区））

「砂防技術に関するいくつかの話題」 政策研究大学院大学 特任教授 水山 高久 氏

「防災気象情報の利活用について」 京都地方気象台 土砂災害気象官 掘田 寛 氏

「多発する土砂災害と砂防ボランティア」

砂防ボランティア全国連絡協議会 会長 亀江 幸二 氏

「京都府の砂防事業について」 京都府建設交通部砂防課 主任 岩田 知浩 氏

(3) 平成30年5月29日 通常総会后、会員研修会を開催

「熊本地震に伴う災害派遣を終えて」 富田林土木事務所建設課 砂防総括主査 河村 昌克 氏

